学校番号	1010

令和３年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ａ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	新版　数学Ａ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	アクセスノート数学Ａ　改訂版（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・授業ノートをつくりましょう。ノートには、先生が強調した部分や自分が解いたときに分からなかった部分に印をつけましょう。分からなかった部分は、もう一度自分で解いたり、後で先生に質問したり友達に聞いたりして理解しておきましょう。
・問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけではなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたのかを知るための大切なものです。

２　学習の到達目標

中学校までの基礎的な数学の力を定着させる。その上で、場合の数、確率の各単元について理解させ、基礎的な知識の習得を図り、具体的な事象を数学的に考察し処理するための能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c: 数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して、場合の数と確率における考え方や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して、場合の数と確率における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考え表現する。	数学的活動を通して、場合の数と確率において、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、よりよく問題を解決する。	数学的活動を通して、場合の数と確率における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
評価方法	確認テスト ワークシート 観察等	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	学び直し		文字式の計算	○			○	a:同類項をまとめる計算や簡単な多項式の加法、減法や単項式どうしの乗法、除法の計算に取り組もうとする。 b:単項式、多項式と数の乗除や一次式の加減の計算が効率よくできる。 c: 乗法公式などを用いて、式を目的に応じて変形することができる。 d:単項式、多項式、同類項などの用語の意味や加減乗除の計算のしかたを理解している。	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等
			一次方程式			○	○	a:式の性質をもとにして、手際よく方程式を解こうとする。 b:数量の関係を的確にとらえ、方程式を利用して問題を解決できる。 c: 等式の性質を使って、方程式を解くことができる。 d:等式の性質を理解し説明することができる。	
			連立方程式		○	○	○	a:加減法や代入法によって、連立方程式を解こうとする。 b:連立方程式を利用して問題を解決し、その過程を振り返って考えることができる。 c:加減法や代入法によって、連立方程式を解くことができる。 d:連立方程式とその解および文字の消去、加減法、代入法の意味を説明することができる。	
			因数分解	○	○	○		a:分配法則に関心をもち、それらを計算しようとする。 b: 因数分解の計算が効率よくできる。 c: 分配法則を使って簡単な形にすることができる。 d:因数分解や公式の意味がわかる。	
			二次方程式			○	○	a:二次方程式とその解について、意欲的に求めようとする。 b:二次方程式を利用した問題で、解決の方法が判断できる。 c: 二次方程式を解くことができる。 d:二次方程式を利用して問題を解決する手順がわかる。	
2学期	場合の数と確率	集合と場合の数	場合の数と順列		○	○	○	a: 順列の考え方、組合せの総数を求める考え方に関心をもち、具体的な場面を見出し、意欲的に活用しようとする。 b: 円順列などのいろいろな順列の考え方のよさを認識できる。 c: 組合せの考え方が活用できる場面を見出し、場合の数を求めることができる。 d: 場合の数、順列、組合せの総数について、概念、用語・記号、公式などを理解し身に付けている。	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等
			組合せ		○	○	○		

3学期		確率	事象と確率	○	○			a: 確率の考え方に関心をもち、その考え方をいろいろな事象の考察に活用しようとする。 b: 確率の基本性質や和事象・余事象の確率について、その意味と考え方のよさを認識できる。 c: 確率の基本性質や考え方を用いて、くじ引きの確率など具体的な事象の確率を考察し、問題解決できる。 d: 確率について、基本的な概念、用語・記号などを理解し身に付けている。	確認テスト 定期テスト ワークシート 観察等
			確率の基本性質		○	○	○		
			独立な試行の確率		○		○	a: 反復試行の確率の考え方に関心をもち、具体的な事象に活用しようとする。 b: 反復試行の確率の考え方のよさを理解し、公式を導き出せる。 c: 確率の基本性質や考え方を用いて経験からの確率について考察できる。 d: 独立な試行とその確率の考え方を身に付けており、文化や社会生活において確率が果たしている役割を理解している。	
			条件つき確率と乗法定理			○	○		

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：数学的な見方や考え方
　　c：数学的な技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※　生徒の興味関心や取り組み状況により、順序と内容について一部変更を加えることがある。